

第47回

# ICTワーク シヨツプ。

AI と

セキュリティ

2026 **10/29** (木) 16:00~17:40

ハイズリット開催

(100周年記念ホールおよびオンライン同時配信)

要申込

詳しくはこちら



交流会(参加費1000円,ただし学生は無料)を実施します。  
対面および交流会は先着35名様に限らせていただきます。(10/23締切)



国立大学法人

電気通信大学

The University of Electro-Communications

主催：国立大学法人電気通信大学

後援：一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）

企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

# プログラム

## (1) AIと計算機と私の研究遍歴

土屋 英亮 教授（情報基盤センター）

現在、AIはあらゆるところに浸透し、もはやAIがなければ仕事にならないといっても過言ではありません。AIの核心の技術はニューラルネットワークです。その歴史は古く、1982年から始まったと言われています。本講座ではこのAIの研究の歴史と計算機の発展の歴史を概観し、講師の研究の歴史も絡めつつ、AIのこれからと今後を考えます。

## (2) 社会的存在としての対話AIの設計論

—良い関係性とは何かを考える—

宮本 友樹 助教（情報理工学研究科 情報学専攻）

生成AIが劇的に普及する一方で、AIとどのように付き合っていけば良いのかは、まだ誰にもわかりません。宮本研究室では、工学の立場から人と対話AIの「良い関係性」とは何かを明らかにするため、理論・実験の両面から研究を進めています。本講演では、社会的存在としての対話AIが人間に与える影響を調べた最新の実験結果をご紹介します。

## (3) 制御システムにおけるAI活用の可能性とセキュリティリスク

橋 唯氏（技術研究組合制御システムセキュリティセンター）

近年、AI技術の進展により、制御システムやそのセキュリティ分野においてもAI活用の機会が広がりつつあります。一方で、実際の導入には安全性や運用面での課題も残されています。本講演では、制御システムにおけるAI活用の可能性と、AIエージェントがもたらすセキュリティリスクについてご紹介します。